

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災行政無線戸別受信機整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	05	02
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鶴巻 浩二			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	避難所等及び市民等	意図	災害時における情報伝達手段の多様化を図る。
事業内容	防災行政無線の戸別受信機を災害時に避難所となる公共施設及び自治会等に整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	防災行政無線の「聞こえ具合アンケート」により屋外子局の情報伝達の限界が明らかとなり、それを補う目的で小中学校、保育所等の避難所や自治会等に297台購入した。 また、平成26年度までに必要な箇所に順次アンテナ工事を実施し整備を行った。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	戸別受信機整備数	298	298	300	台	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成24年度58台、平成25年度239台、平成26年度はアンテナ設置工事を実施。平成27年度は、おおたかの森小中学校に新たに1台設置。平成29年度は、特別養護老人ホーム季の花と美晴らしの里に1台ずつ計2台設置した。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,085,208		773,152				
事業費(b)(円)		332,208		101,952				
うち一般財源		332,208		50,952				
職員給与費(c)(円)		753,000		671,200				
人役・職員(人)		0.10		0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	適切な維持管理と、新規施設に設置を実施する。	③取組の課題	自治会等で戸別受信機の移設が必要になった場合、移設費が自治会等の負担となっている。
②今年度(H29)に実施した取組	災害時に福祉避難所となる新たな2施設に対し、戸別受信機設置を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	移設等は防災資機材等補助金を充当することとする。新規設置や既存機器の修繕など適切な維持管理を行っていく。